



Vol 4

横浜市戸塚区民文化センター
さくらプラザ 情報誌



SAKURA PLAZA



Pick
Up
Artist

インタビュー

奥村 愛 小林 道夫

SAKURA ONLY KNOWS 赤ちゃんとママのランチコンサート 三浦友理枝／遠藤真理

RECOMMENDED ARTIST

エッセイ 柳家小せん

筆の向くまま

戸塚出身の小せん師匠が、扇子をペンに持ち替えて

レポート 駆が駆ける

戸塚七福神を巡ってきました!編



SAKURA
PLAZA

Pick Up Artist



奥村

おくむら

愛

あい

ファミリーコンサート「KIDSのためのクラシックコンサート」

クラシックの魅力と
音楽の可能性を伝えたい

自らのプロデュースによる親子向けのコンサートを、各地で開催している奥村愛さん。小学3年生のお嬢さんを持つお母さんでもある奥村さんに3月に行われる「KIDSのためのクラシックコンサート」への思いを伺いました。

—親子向けコンサートは、どんな思いから始めたのでしょうか？

もともと子どもの前で演奏するのも好きでしたし、自分に子どもができたのもあって。子どもの成長を見ながら、どういう音楽に興味を持つとか、やっぱりじかに見ることができるので、それを何か活かせたらいいなと思って始めました。

—お子さんには、クラシック音楽を聞かせたりするのですか？

特にはしてないです。ポップスも聞くし、アイドルの歌も聞くし。でも、クラシックも聞きますね。だから、鼻歌がもう色々なジャンル。クラシックやアニメの曲を歌ったり、まったく隔たりがないので、見ていて「いいな」と思います。クラシックを難しいジャンルっていうふうに分けて欲しくないな、というのがあるの。大人になってから初めてクラシックのコンサートを聴くって、すごい身構えると思うんですけど、子どものときに行ったことがあるとか、バイオリンを生で見たことがあるっていう経験があると、もう少し大人になったときにクラシック音楽に対しての偏見が、だいぶ減るんじゃないかなと思って、何かできるいいなと。

—同じ音楽なのにジャンル分けして、ちょっとクラシックが特別なものになっちゃってますよね。

そうですね。ロックが好き、クラシックが好き、ジャズが好きっていう好みはそれぞれあっていいと思うんですよ。でも何となくクラシックだけ別物な感じになっているような気がして。好きな音楽のジャンルを選ぶときにクラシックも普通に（選択肢に）入れてもらえるといいなあと思いました。

やっぱりこの何百年と続いてきた歴史はあるので、絶対なくしてはいけないものだと思うし。

でも、日本はヨーロッパと違ってそこまでクラシックが根付いてないので、もうちょっと根付いてもらえるといいなっていう感じですよ。

—それには、子どものときからクラシックに触れる環境があるということは大事ですね。

悪い偏見ではないですけど、やっぱりちょっとクラシックは、難しくて分からないし、じっと座ってなきゃいけないし、スーツ持たないとか（笑）、ちょっとした行きにくさみたいなのを思っている人はすごく多いので、そういうのがなくなるっていいなって。

—コンサートでは、子どもたちの反応はどうですか？

子どもたちは、一生懸命、聞いてくれる子たちもいっぱいいるし、そうじゃなくてやっぱり興味を持ってない子ももちろんいます。



だけど、子どもをコンサートに連れて行くにあたって、自分の子は無理だと思う親御さんが多くて、幼稚園のお母さんに聞いてみると、ほとんどのお母さんがそう言っていて。でも、誰にでも初めてはあるので、その初めてが行って楽しかったとか、そんなに堅苦しいものじゃないんだとか、多少泣いても大丈夫なんだって思って、きっかけになってくれたらいい、そういうコンサートにできたらいいなと思いつながらやっています。あとは、子ども云々じゃなくて、親なんですよ。マナーを教えるのも親だし。きちんとちゃんと座っておきなさい、じゃなくていいんですよ。だけど、例えば周りの人への配慮っていう意味では、親がちゃんとしていれば、子どももそれを見て習うと思うんです。

—今回の選曲の意図は…

やっぱりクラシックを初めて聞くのに、あまり難しい曲を弾いても興味をそそられないのもったいないので、有名どころの曲であったり。子どもって不思議で、知らない曲でも2、3回聞いたらあつという間に、もう知ってる曲になっちゃう。私、3回聞いても覚えてなかったりすることもあるので（笑）。だから、クラシックといわれる曲だけど、どこかで聞いたことあるような曲だったり、子どもたちが面白がってくれるようなエピソードがある曲だったりとか、そういうものなるべく集めるようにしてみました。

—今回の聞きどころというのは。

バイオリンがあって、ピアノがあって、チェロがあって、ピアノがあって、それぞれ一人でもできる楽器だけど、それをみんなで力を合わせることで、こんなに音楽の幅が広がるんですよっていうところを。みんなは音楽として聞くかもしれないけど、それがいろんな意味で受け取ってもらえるといけかな。一人加わることによって、全然違う音楽になったり、楽器を変えるだけで違う音楽になったり、音楽の可能性を感じて欲しいです。

—最後に戸塚のお客様に向けて、一言お願いします。

自分の子どもがクラシックが好きか、そうじゃないかは、取りあえず連れてこないと分からないので、ぜひ気軽に気持ちで来てほしいなと思います。そこは無理強いさせてみる。で、その後、やっぱりうちの子は違うかもっていうんだったら、それは全



左から奥村愛 (Vn)、前田尚徳 (Vn)、山田那央 (Vla)、奥村景 (Vc)

然それで構わないけど、食わず嫌いは嫌だなあ、と（笑）。でも、楽しいコンサートなのとてにかく気軽な気持ちで来てもらえるとうれがたいです。

—ありがとうございました。

奥村 愛

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。辰巳朋子、ライナー・ホーネックの各氏に師事。第48回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位、第68回日本音楽コンクール第2位、他受賞多数。これまで国内の主要オーケストラとの共演をはじめ、04年にはP.ガロワ指揮シンフォニア・フィンランディア日本ツアーへの出演など、海外オーケストラとの共演も重なる。富士山河口湖音楽祭に毎年出演。CDは02年『愛のあいさつ』でデビュー。最新CDは2013年11月発売の『With a Smile〜微笑みをそえて』（エイベックス・クラシックス）。親しみやすいプログラミングと自然体なトークによるリサイタルは各地で大好評を得ている。一児の母としての経験を生かし、自らのプロデュースによる親子向け公演を数多く手掛けている。テレビ・ラジオ等への出演も多く、多彩な活躍で注目されている。桐朋学園芸術短期大学で非常勤講師を務めている。 <http://aiokumura.jp/>

Pick Up Artist



奥村 愛

3歳から
入場できます

ファミリーコンサート
「KIDSのためのクラシックコンサート」

3/30 (Sun)
14:00開演 (13:30開場)

奥村 愛 (Vn)
前田 尚徳 (Vn) 山田 那央 (Vla)
奥村 景 (Vc) 小柳 美奈子 (Pf)

チケット好評発売中
お問合せはさくらプラザまで

Pick
Up
Artist



小林道夫

こばやし

みちお

黄倉ハッハ Vol.4 「小林道夫チェンバロ・ピアノリサイタル」

ハッハの音楽には音楽で大切な
秩序というものがあります

バッハの第一人者である小林道夫さん。
バッハの曲を演奏するときの熱い思いを伺いました。

—チェンバロという楽器を初めて聴かれる方も多いかと思いますが、どのような楽器でしょうか？

約400年から300年前に栄えた鍵盤楽器で、そのチェンバロを改良してピアノが作られたので、形はピアノによく似ています。違いとしては、**チェンバロは鳥の羽軸の部分で弦をはじいて音を出しますが、ピアノはハンマーで弦を叩いて音を出す**、という撥弦（はつげん）楽器と打弦楽器の違いがあります。それで、はじくということは音の強弱がつけられないので、強く弾いても弱く弾いても同じ音がします。音楽の表現の仕方はピアノのようにダイナミックで押してくるのではなく、喋り方で表現をします。喋り方というのは、例えば二つの音を繋ぐか切るか、あるいは二つ目の音を出すタイミングを早くするか遅くするか、ということでの表現方法です。それから、一つの鍵盤に弦が3組張ってあるのですが、その3組の弦をどのように組み合わせるかを考えながら音色を決めていくので、大きなセクションごとに音を変え、節と伴奏を違う音で弾くというようなことができます。これはピアノではできないですよ。パイプオルガンと音の作り方が似ているところがあります。



チェンバロ／Flemish Dulckenモデル

—先生にとってバッハを演奏するということは？

音楽でいちばん分かりやすいのは、やはり感覚的な喜びだと思います。しかし、そればかりではなく、秩序というのがとても大事だと思います。調和と美と、それから秩序。人間の手が入ってない自然界の様々なものは秩序のもとに創られていて、一つ一つの木にしても、花にしても、動物にしても、人間が手を加えることがなければいろんな細かい機能が備わっていて、しかも全体が調和している。実はそういう世界がバッハの音楽にはあるのです。モーツァルトの音楽の中からそのような理屈を抽出できるかという、それはできないですね。バッハの頭の中がどうなっていたのかは分かりませんが、例えば数学的に音の数を数えているような分析してみても、ちゃんと満足させるような理屈が立ちます。よっぽど神様に気に入られて、インスピレーションが他の人よりたくさんあったのだろーと思います。だから、**バッハの曲を弾いていると、あるべきものがあるべきところに収まっていくという感覚が、なんとなく分かるような**気がします。今日我々は、先端的な技術が発達し、様々な面で非常に便利になりましたが、その反面、大丈夫なのかなという一種の反省のようなものを考えさせられます。秩序ということで、それで、バッハの曲を勉強した頭で見ると、理屈で分析するとちょっとバラバラになってしまうような曲でも、その曲の本当の魅力のようなものが、ちゃんと見えるようになる。**あるべきものがあるべきところにあるというのは、ものすごい安心感がある**と思います。

—バッハを弾く時はやはり安心していらっしゃる？

安心というより、弾いた後は頭の中を整理してもらったような気がしてすっきりします。ぐちゃぐちゃしていることが、あ、そうだったんだと、弾いた後は清々しい気持ちになれるのです。また、たとえば演奏が多少思い通りにいかない時でも、曲の立派さが立つような気

がします。これが、同じ時代のヘンデルの作品ではそうはいかないと思います。

—チェンバロとの出会いは？

芸大を出てからですから、昭和32年頃だと思います。その頃、戦後初めてラジオ東京（現TBS）に、ノイベルトのチェンバロが1台入りました。伊藤京子さんがバッハの「結婚カンタータ」を東京交響楽団の演奏で歌う公開録音の際に伴奏者としてチェンバロを弾いたのが初めてだったのですが、鍵盤が白黒逆さまで2段ありペダルが5本ある、と戸惑ったのをよく覚えています。指揮者がアメリカ人で、弾き方を教えてくれたのですが、タッチまでは教えてくれなかった。いわゆるピアニストとしての訓練をしっかり受けていないので、逆に、楽器の要求というか、ピアノを弾いていても、やっぱりピアノのメーカーや個体の差で鍵盤の指応えが違いますよね。それで、その楽器にどうやってら1番上手く意思疎通できるかということを探るのは好きだったんです。なので、**自分の中には鍵盤がどう思うのかということ**を敏感に感じることができたので弾けたらと思ういます。

—今、大分県湯布院にお住まいですが、日々の生活の中で最近感じていることはございますか？

湯布院の町はずれなんです、窓から見てみるとどちらを見ても緑が見えるとても環境のいいところに住んでおります。ドイツに留学した時に「トイトブルクの森」という有名な森のすぐ側に住んでいたのですが、空気の匂いとか、色々なものがとても自然そのものだったんですね。そうすると初めは分からなかったのですが、ひと月ぐらいそこにいたら、東京に住んでいた時はいろいろな鎧を着こんでいたというのがよく分かってきて、その鎧が段々脱げていくんですね。そうすると音楽の勉強をしている時に色々なことを感じやすくなりますよね。そういう留学時代の経験を思い出しました。なので、長年東京で演奏活動をしていていろいろな刺激があり、音楽的な経験を本当にたくさん積ませてもらって、いいものが自分の中にいっぱい詰まっていたと思うのですが、自分でそれを使いきれていなかった。それが、少しずつ自由にいろんなものが、自分の中から出てこうとしているという感覚が、この頃とてもありました。

やはり、自然が豊かなところに住んでいると、感覚的な鎧を着ないですみますね。音楽を勉強する人はみんな自然の中に住みなさいとは言えませんが、大都会にいと気づきににくいことも、自然の中にいると非常に感じやすくなる。湯布院の生活ではそんなことを感じさせられます。

—最後に、5月24日のリサイタルに向けて戸塚区民のみなさまに、一言お願いします。

室内楽に相応しい響きのとてもいいホールをお持ちになっていらっしゃるということは、本当に羨ましい。室内楽っていうのは、大きな会場で演説のような話をするのではなく、何人かで親しい話をするような感じの、そういう音楽だと思います。そういうところで演奏させていただくのをとても楽しみにしています。

—ありがとうございました。

※詳しい公演情報はチラシ、HPをご覧ください。
お問い合わせはさくらプラザまで。



小林道夫

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、ドイツのデトモルト音楽大学に留学し、幅広く研鑽を積み、帰国後はチェンバロ・ピアノ・室内楽指揮など多方面にわたり活躍し、特にバッハ、モーツァルト、シューベルトの解釈・演奏は高く評価されている。数多くの世界的名演奏家達と共演し、最も経験豊かな音楽家の一人と言えよう。1956年毎日音楽賞新人奨励賞、1970年鳥井音楽賞（現サントリー音楽賞）、1972年ザルツブルグ国際財団モーツァルトウム記念メダル、1979年モービル音楽賞をそれぞれ受賞している。武庫川学院女子大学教授、国立音楽大学大学院教授、大阪芸術大学大学院教授、東京藝術大学客員教授を歴任し、現在、大分県立芸術文化短期大学客員教授。

Pick
Up
Artist



小林道夫

SAKURA ONLY KNOWS

三浦友理枝
&
遠藤真理



— どんなコンサートにしたいですか？

三浦：赤ちゃんから聴けるコンサートはここ数年時々行っています。「赤ちゃんのうちから生演奏を聴かせたい」「子育て中でなかなかコンサートに行けなくなってしまい、こういう機会は嬉しい」という感想をよく頂きます。忙しく子育てしているお母さん方にはひとときのリフレッシュに、子供たちにはほんの一瞬でも記憶に残り、将来音楽に親しみを感じてもらえるようなチャンスになればと思います。

遠藤：親御さんとお子さん、皆さんとステキな時間が共有できれば嬉しいです。

— 子供のころ、どんな音楽を聴いていましたか？

三浦：まだCDが普及し始めた頃、ピアノの名曲集の何枚組かを買ってもらって、よく風邪で寝込んで退屈なときにそれを聴くのがとても楽しみでした。

遠藤：やはり弦楽器の曲が多かったです。

— 三浦さんはさくらプラザでのコンサートは今回で3度目、遠藤さんは初めてということで、戸塚区のお客様にメッセージをお願いします。

三浦：開館記念式典、10月のランチコンサートに引き続き、さくらプラザの素敵な響きの中演奏できますのを楽しみにしています。遠藤さんのチェロの音色は本当にふくやかで、ホールとの相性もばっちりだと思います！是非聴きにいらして下さい。

遠藤：私も子育てをしている新米ママです。子供の五感を刺激することは大切だと感じます。音楽を聞かせたり、ちょっと外の空気をすったりするだけでご機嫌になることも。ご近所までちょっとコンサートに、、、という気分でお越し頂ければ嬉しいです。

Yurie Miura & Mari Endou

三浦 友理枝(ピアノ) Yurie Miura, Piano
2001年第47回マリア・カナルス国際音楽コンクールピアノ部門第1位及び金メダル、最年少ファイナリスト賞、カルロス・セプロ特別メダル賞を受賞。2005年、エイベックス・クラシックスよりCDデビュー。2010年にリリースした「ショパン：24のプレリュード」は「レコード芸術」(音楽之友社)で特選盤に選ばれた。



遠藤 真理(チェロ) Mari Endou, Cello
神奈川県出身。東京芸術大学を首席にて卒業。2003年第72回日本音楽コンクールで第1位、2006年「ブラハの春」国際コンクールにて第3位、3枚のソロアルバム、トリオ・アルバム「RAVEL」がエイベックスよりリリースされている。ザルツブルクのモーツアルテウム音楽大学を最高点で卒業。2007年神奈川県より文化賞未来賞受賞。2009年12月には、齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2012年4月よりNHK-FM「きらクラ!」パーソナリティを務める。



赤ちゃん&MAMAの ランチコンサート

ランチコンサート Vol.6

3月17日(月) OPEN 10:30/START 11:00

愛の挨拶／エルガー
白鳥／サン＝サーンス
ゴリウオーグのケーキウォーク／ドビュッシー
ほか

■聴きどころ

今回のランチコンサートは、普段クラシックのコンサートになかなか行く機会が持ちにくい、赤ちゃん&MAMAに(もちろんパパも大歓迎!) 贈る演奏会です。豊かなチェロの音色とピアノのハーモニーをお楽しみください。初めて聴くクラシックにぴったりな、短めで楽しく、わかりやすいメロディーの曲を取り揃えてお届けします!

好評発売中

全席指定(前売/当日)

一般 1,200円 子ども(0~12歳) 800円

■ さくらプラザ 問合せ
TEL: 045-866-2501

■ ローソンチケット
TEL: 0570-000-407 【Lコード:39281】



コンサートの掛け声 「ブラーボ！！」講座

出演者のいいパフォーマンスに対して客席から掛かる「ブラボ〜！！」という歓声を一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。これは「Bravo（ブラーボ）」というイタリア語で「素晴らしい」というような意味の掛け声です。しかし、やや間違った使い方をしていることが多いので、正しい掛け声について調べてみました。



掛け声は種類だけではありません

本来はイタリア語で、男性・女性、また単数・複数で語尾が変化します。

1. 出演者が男性一人の時:「ブラーボ! (Bravo)」
2. 出演者が女性一人の時:「ブラーバ! (Brava)」
3. 出演者が男性複数の時:「ブラービ! (Bravi)」
4. 出演者が女性複数の時:「ブラーベ! (Brave)」
5. 出演者が男女複数の時:「ブラービ! (Bravi)」

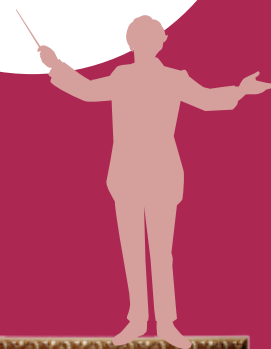
みなさん、男性でも女性でも関係なく「ブラボ〜!!」と叫んでませんか？よろしければ今後掛け声を掛ける時にやってみてください！

「オッ!! イタリア語が分かった人だ!!」と尊敬されるかも(笑)

掛け声はいつ掛けるの？

歌でも演奏でも共通ですが、いいパフォーマンスで盛り上がり終わった後の余韻を聴いてから声を掛けましょう。

演奏者も観客もまだ余韻を味わっているうちに声を掛けてしまうのは野暮です。拍手前の絶妙のタイミングで声掛けする達人はいますが、一般的には観客が拍手を初めてから声掛けしても遅くはありません。



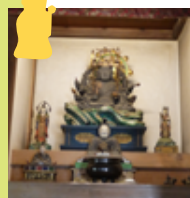
因みにシルベスター・スタロンの映画「ランボー」のような発音の「ブラボ〜」ではなく正式には「ブラーボ」が正しい発音です!!

戸塚七福神を巡ってきました！編



こんにちは! さくらプラザの渡辺駆です。春が近づいてきましたね。いきなりですが私、今年厄年なんですよ…。少しでも縁起の良いものに触れたいという個人的理由もあり(笑) 暦の上では春ではありますが、まだまだ寒い2月上旬に戸塚の七福神を実際に巡ってきましたよ〜!

戸塚駅から見て北に位置する来迎寺は、大正12年の関東大震災のとき崩壊しましたが、昭和46年に再建されたそうです。写真は長寿の寿老人。(老後沖縄で悠々自適にすごせますように…) 続いて来迎寺から少し南下したところにある雲林寺、このお寺は源頼朝の供養のために北条政子によって建てられたそうです。商売繁盛・金運のご利益がある恵比寿がどっしりと腰をおろしていました。(予想外な出費が今後なくなりますように…)



戸塚駅近くにある、徳川家康の側女お万の方ゆかりのお寺、清源院と、弘法大師が開山したといわれている宝蔵院には、勝負強さ・就職成就の毘沙門天が祀られています。(こごぞという時に何かしら良いアイデアが浮かびますように…)

戸塚駅から北東に位置する妙寿寺の境内の道標は、歌川広重の浮世絵「大橋」に書かれた道標「かまくらみち」と言われています。ここには弁財天が祀られており、入試合格祈願にご利益があるそうです。あの時ここに来ていれば…(笑)

戸塚駅西口から少し歩いたところに高松寺があります。ここで家内安全の大黒天を激写!! 旧東海道を下ると海蔵院があります。この境内には左甚五郎作といわれている竜の彫刻があり、これがまたとても迫力があり見惚れてしまうほどでした。このお寺には縁結び・子福・いじめ防止の布袋尊がお出迎えしてくれました。(友達が増えますように…)



親縁寺は、区内唯一の時宗で、一年中季節の花が咲いている花の寺として親しまれています。このお寺には健康・ガン防止にご利益のある福祿寿像があります。(ウィルス系の病気にかかりませんように…)

七福神めぐりの縁起の良い色紙を買いました。厄年なのに欲張ってお願いしすぎてしまいました(笑) とにかく今年も頑張りますので、引き続きさくらプラザをよろしくお願いします!

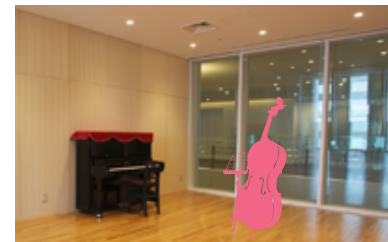


駆がくる
駆ける
連載
5

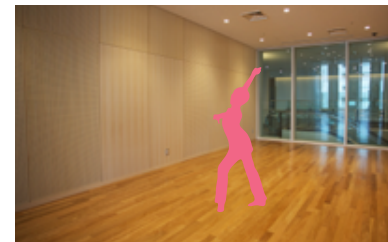


戸塚区民文化センター さくらプラザ

第4回 練習室dio

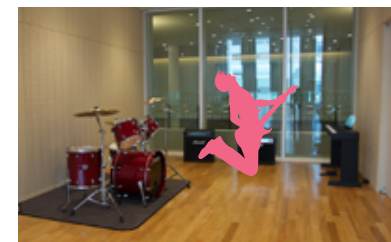


練習室1 (約40㎡) アップライトピアノがあります。コーラスの練習や、楽器の練習にぴったりです。

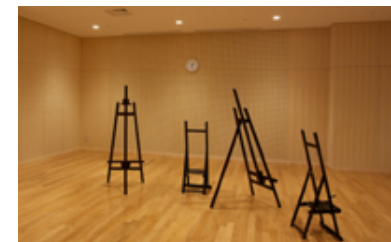


練習室3 (約30㎡) は少人数のダンス練習から管楽器の練習など、幅広いジャンルでご利用いただけます。

みなさまのご利用を
お待ちしております！



練習室2 (約30㎡) には電子ピアノ、ドラムセット、各アンプ、音響ワゴンもあります。地元のバンドに人気の施設です。



練習室4 (創作室) (約58㎡) 20名ほどのアンサンブルなど室内楽の練習に適しています。手芸・工芸・デッサンなどの創作活動にもご利用いただけます。

日本を代表するヴィルトゥオーゾ ピアニスト・若林 誠 「ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全32曲 vol.1 vol.2」

【第1回】5月16日 (金) 20:00開演
ベートーヴェン
ピアノ・ソナタ 第1番 Op.2-1
ピアノ・ソナタ 第2番 Op.2-2 ほか

【第2回】7月11日 (金) 20:00開演
ベートーヴェン
ピアノ・ソナタ 第19番 Op.49-1
ピアノ・ソナタ 第20番 Op.49-2 ほか

●チケット発売日●
両公演とも
3/14 (金) 10時から

さくらプラザ窓口販売
3/15 (土) 10時から



©WAKUNISHIDA

柳家
小せん

筆の向くまま



連載 第五回

だいぶ春めいて参りました。…めいて、きてますよね？(この原稿を書いている現在は「明日、大雪が降るぞー」と嚇かされています)まだ冷え込む日もあるかもしれませんが、三寒四温、すぐそこまで迫る春が待ち遠しい、そんな時期に差し掛かっているのは確かだと思われまふ。当館の名前にも冠してある、さくらの前線がすぐそこまで。

寄席の方では、「長屋の花見」「花見酒」「花見の仇討」などという噺がさかんに演じられる時節。落語の中にはその季節ならではの演出もけっこう多いのです。日付がはつきりしているものとしては、端午の節句でお祝いを買いに行く『人形買い』、両国の川開きで催される花火を背景にした『たかや』、四万六千日の縁日に向かう『船徳』、大晦日には『かけとり』や『芝浜』など。他にも旬の食べ物を題材とした『目黒の秋刀魚』や『ぶく鍋』、凍つく寒さや、うだるような暑さを描く噺も数多あります。その時々々の風情を、ときにちよつと先取りもしながら楽しんでいただけるよう、ネタ選びを考えております。

近頃は、季節を感じる要素が薄くなっているように思います。空調が行き届いた環境が増え、旬ではない食材でもわりと手に入りやすかつたりする。便利になるのはいいことなのですが、風情に欠けるというか、本当の意味での『豊か』とは少しずれてしまっている、そんな気もするのです。旧態依然とした業界に身を置いている立場からの、ただの感傷なのかもしれませんけれど。せっかく、四季が美しい国に生まれてきたですから、楽しまなげれど。で春に氣付いて、冷房にやられて夏を感じて、商業主義的な〇月〇日にはコレを貰え、贈れ、食えー」つてのに踊らされるだけじゃもったいない。

まずはお花見、酔っぱらって騒いだりしなくてもいいんです。あつたくなつたら、柏尾川沿いをのんびり歩く、これだけでもいいモンです。私もね、ご当地で毎年お招きいただいている、とある会合が四月のはじめにあるのです。その日は早めに来てその辺をうろつろとするのが楽しみ。
春を待ちわびながら、明日は、雪見酒かな。結局、理由を付けては呑みたいだけかもしれません…。

(柳家小せん・戸塚出身落語家)

男は背中で物語る

トツカミカエリオヤジ 戸塚見返親仁

其之四の後ろ姿は...
豊田屋の会長、石井清さんでした！
「新鮮なフルーツとケーキはT-Berry 豊田屋へ。お待ちしております。」



顔見世

其之五



商店のご主人など、戸塚区内で働いているオヤジ世代の後ろ姿から、何処の何方だろうかと思像してみるコーナーです。次号では、見返りポーズで、顔を公開します。

さくらプラザ 自主事業公演スケジュール

3月
March

3/2 15:00
黄金バツハVol.3
石川滋
無伴奏コントラバス
リサイタル

3/17 11:00
ブランチコンサート Vol.6
『赤ちゃんとママの
ブランチコンサート』
三浦友理枝 (Pf)
遠藤真理 (Vc)

3/30 14:00
ファミリーコンサート
『KIDSのための
クラシックコンサート』
奥村愛 (Vn)
前田尚徳 (Vn) / 山田那央 (Vla)
奥村景 (Vc) / 小柳美奈子 (Pf)

4月
April

完売御礼!

4/19 15:00
前橋汀子プロデュース
Vol.1
『ヴァイオリン珠玉の名曲集』
前橋汀子 (Vn)
松本和将 (Pf)

前橋汀子セルフプロデュース企画
第1弾!
5年にわたるプロジェクトが
ついに始動します。
第2弾は11月8日です。
ご期待ください!

5月
May

5/16 20:00
若林顕
ベートーヴェン
ピアノ・ソナタシリーズ
Vol.1

5/24 15:00
黄金バツハVol.4
小林道夫
チェンバロ・ピアノ
リサイタル

Coming soon!!

7/11 若林顕 ベートーヴェン ピアノ・ソナタシリーズ Vol.2
8/31 区民感謝祭『真夏のさくらの祭典』
9/19 若林顕 ベートーヴェン ピアノ・ソナタシリーズ Vol.3
9/27 山形 由美 & 荘村 清志 リサイタル
11/8 前橋 汀子プロデュース Vol.2 『前橋汀子カルテット』
⋮

ご予約・お問合せは TEL: 045-866-2501

Vol.4

横浜市戸塚区民文化センター
さくらプラザ 情報誌

2014.3.1発行



戸塚区民文化センター さくらプラザ

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17 FAX: 045-866-2502

<http://www.totsuka.hall-info.jp> MAIL: event@totsuka.hall-info.jp